

# 産業建設常任委員会記録

平成27年8月4日

【開催日】 平成27年8月4日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前9時59分～午前11時31分

【出席委員】

|     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 松尾数則  | 副委員長 | 河崎平男  |
| 委員  | 大井淳一朗 | 委員   | 杉本保喜  |
| 委員  | 中島好人  | 委員   | 長谷川知司 |

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

|    |      |     |      |
|----|------|-----|------|
| 議長 | 尾山信義 | 副議長 | 三浦英統 |
|----|------|-----|------|

【執行部出席者】

|              |      |                |      |
|--------------|------|----------------|------|
| 産業振興部長       | 姫井昌  | 産業振興部次長        | 多田敏明 |
| 商工労働課長       | 白石俊之 | 商工労働課主査兼商工労働係長 | 山本修一 |
| 商工労働課商工労働係主任 | 三浦裕  | 企画課行革推進係長      | 別府隆行 |

【事務局出席者】

|    |      |           |      |
|----|------|-----------|------|
| 局長 | 古川博三 | 庶務調査係主任主事 | 梅野貴裕 |
|----|------|-----------|------|

【審査事項】

- 1 山陽小野田市プレミアム付商品券について

---

午前9時59分 開会

---

【議事の概要】

販売状況について

- ・6月1日から6月20日まで第一次募集を行った。

- ・往復はがきによる引換はがきの発送枚数は11,102通。
- ・引換機関は7月12日（日）から8月12日（水）まで。
- ・商品券との引換状況（7/30現在）は、おのだサンパーク7,342セット、不二輸送機ホール216セット（7/12限定）、小野田商工会議所613セット、山陽商工会議所1,079セット、合計9,250セット。引換発送はがき枚数に対して83.3%の交換となっている

#### 換金状況について

- ・換金日は3日、13日、23日の毎月3回。
- ・第1回換金日（7/23）は換金枚数1万2,397枚、金額619万8,500円。交換済に対して5.6%の換金となっている

#### 取扱店登録状況

- ・サンパークの専門店を合わせて403店舗。資料の一覧表より49店舗増えている。

#### 二次販売について

- ・山陽小野田市民限定で販売予定数は約2万4,000セット。
- ・一人当たりの上限セット数は5セットまで。
- ・販売方法は直接販売、先着順。
- ・当日並ばれた方に対して申込用紙を1枚交付し、住所、氏名、購入希望枚数を記入していただくことを考えている。

#### 販売日、販売場所

- ・8月27日（木）  
おのだサンパーク10:00～19:00販売予定数9,000セット  
不二輸送機ホール9:00～17:00販売予定数4,000セット
- ・8月30日（日）  
おのだサンパーク10:00～17:00販売予定数1万1,000セット
- ・売れ残りがあれば8月30日に合わせて販売し、二次販売での完売を目指している
- ・告知方法としては、市広報8/15日号、両商工会議所会報8月号、市・両商工会議所のホームページ、新聞折り込チラシを予定している。

### 【主な質疑】

杉本保喜委員 二次販売のときに、一次販売のはがきを持ってきた場合はどうするのか。

白石商工労働課長 交換期間が過ぎたはがきは無効扱いにする。

杉本保喜委員 新聞折り込みチラシはいつ配布するつもりか。

白石商工労働課長 未定であるが、折り込みの少ない日を狙って行いたい。

中島好人委員 現状と問題点、今後の方向性について、なぜそうなったのか反省の上に立ってこの方針が出たということが示されていない。

白石商工労働課長 当初は広く市民に買っていただきたいという考え方から、はがき1枚に対して1セットとしていたが、完売には至らなかったのも一人5セットまでに変更した。また、往復はがきに対しても苦情等があったので、直接販売ということにした。会場については、他市の状況等を見ると会場等が混み合っていたので、駐車場が確保できること、熱中症等を考慮して、おのだサンパークと不二輸送機ホールに決定した。

杉本保喜委員 換金についての分析をしておく必要があると思うがどうか。

白石商工労働課長 換金については、まだ1回しかしていない。10日に1回指定された日に指定金融機関で手続きを行い、翌日に指定口座に振込みということで銀行と契約をしている。

杉本保喜委員 市場における感想をどのように捉えて二次募集の形にもっていったのか。

白石商工労働課長 二次募集の方法等については、両商工会議所からなる推進協議会に諮っている。推進協議会や市役所にも御意見等が多々寄せられており、それらを踏まえて決定している。

杉本保喜委員 印象に残っている意見を挙げて欲しい。

三浦商工労働課商工労働係主任 予定枚数に達していないという記事が宇部日報に載っていたことから、「二次販売をいつされるのか」「二次販売は、はがきじゃなくて直接販売にしてもらったほうがいい」「市民以外は買えないのか」等の意見があった。換金についての苦情は出ていない。

大井淳一郎委員 換金方法については、苦情がないからそれでいいと考えてい

るのか。

三浦商工労働課商工労働係主任 換金については指定金融機関と協議会が契約を結んでいる。3日、13日、23日、その日が休みの場合は前営業日、取扱店への支払いについては翌日の支払いとしている。もし苦情が出るようであれば、金融機関に相談して対応していく。

大井淳一郎委員 一次募集で購入した方も二次販売に参加できるのか。

白石商工労働課長 できる。

大井淳一郎委員 不正防止策で氏名や住所を記入するということだが、かなり混雑するのではないか。

白石商工労働課長 事前に並ばれることが予想されるので、クリップボード等に挟んで記入していただこうと思っている。

大井淳一郎委員 8月27日については、おのだサンパークと不二輸送機ホールの両方で購入しようとする人が出てくると思うが、対策は考えているか。

白石商工労働課長 それについては防ぎ切れないと思っている。ただし、早い段階で完売するのではないかと予測している。

大井淳一郎委員 税金が絡んでいるので、公平性も考えなくてはいけない。また、不二輸送機ホールは一次募集の初日で216セットしか売れていないが、余った場合はどうするのか。

白石商工労働課長 不二輸送機ホールの販売枚数については、山陽商工会議所とも相談して、人口比率で約半数の4,000セットとしている。完売すると予測しているが、余った場合は8月30日おのだサンパークで全てを販売する。

大井淳一郎委員 27日に購入した人が30日にも購入することが考えられる。チェックはできるのか。

白石商工労働課長 チェックすることは不可能だと考えている。

長谷川知司委員 身分確認はしないのか。

白石商工労働課長 運転免許証や保険証、郵便物等で確認することも考えたが、混雑が予測されるので市民の良識を信じたい。

長谷川知司委員 税金を使う以上は市民の確認が最低限必要である。

白石商工労働課長 その辺りは検討したが、推進協議会でそこまでする必要はないということになった。

長谷川知司委員 行政はどう考えているのか。

姫井産業振興部長 税金ということは十分認識をしている。再度協議会と話をしてみたい。

長谷川知司委員 税金を使うのであれば、公平に市民に渡すということが優先ではないか。告知方法にしても8月15日号の広報は表紙に出せるような形にするのか。新聞折り込みも、新聞を取っていない人が多く、ホームページにしてもお年寄りには余り見ていない。会議所の8月号も余り縁がない。いかに市民に分かりやすくするかという工夫が感じられない。

大井淳一郎委員 時間は最低限合わせたほうがいい。また、一人5セットということだが、家族分を代表者がまとめて購入することが可能なのか。

白石商工労働課長 並んだ方一人分としている。

中島好人委員 推進協議会が決めているということだが、商工会議所からは事業を進める中でほとんど行政の側で決めてきているという声を聞く。実際にこの案はどういう流れできているのか。

白石商工労働課長 確かに両商工会議所は忙しいので、資料等についてはこちらで作っているが、日頃のコミュニケーションの中で両商工会議所の意見も聞いて作成しており、協議会の了解を経て最終決定したものだと考えている。

河崎平男副委員長 当初販売方法については往復はがきでの応募だったが、問題点はあったのか。

三浦商工労働課商工労働係主任 家族の方等のダブりの件数が35件、住所不明・市外が5件程度あったと聞いている。

大井淳一郎委員 売れ残りの原因として、告知方法が不十分だったということもあると思う。のぼり等での周知も必要ではないか。

白石商工労働課長 のぼりについては、協議会に諮ったが事業者から要望がないので必要ないという結論になった。

大井淳一郎委員 要望がないからいいという話ではない。のぼりでもあれば加盟店であることが分かるだけでなく、まち全体も盛り上がると思う。税

金を有効に使うためにも、のぼりは必要ではないか。

白石商工労働課長 再度協議会に強く言ってみたいと思う。

大井淳一郎委員 のぼりについては、あくまでも取扱店と行政との関係だと思う。のぼりが必要な取扱店に配っていくというようなことができないのか。

白石商工労働課長 この事業については協議会に委託しており、シールやチラシを配るのも協議会を通して。予算も委託した事業費の中でやっている。協議会を飛び越えて市から取扱店にのぼり等を渡すということとはできない。

大井淳一郎委員 複数の委員から出た意見なので検討していただきたい。ただし、委員の意見が全て正しいとは思っていない。協議会の中でしっかり協議されて出た結論であればそれが一番だと思っている。

白石商工労働課長 事業の内容、御意見等を理解して協議会に意見を持って行きたい。

中島好人委員 二次募集では地元商店専用の商品券を考えなかったのか。また、子育て支援の一つの施策にしているところもあるが協議会の中でそういう話は出たのか。

白石商工労働課長 一次販売で全て売り切れると考えていたので印刷等が全て済んでおり、二次販売で商品券を分けるということは考えていなかった。子育て支援等については、このたび御意見も出ておらず、こちらのほうも提案していなかった。

中島好人委員 商品券がどこの店で消費されたか分かるのか。

白石商工労働課長 商品券の裏面に店舗名を書いてもらう形になっている。また、口座に振り込むので使用された店は把握できる。

大井淳一郎委員 今後の地域通貨等につなげていかななくてはいけない。以前から指摘しているように小規模店舗専用券がなかったことによってどうなったのかということをしかり検証していただきたい。

白石商工労働課長 検証する。

大井淳一郎委員 どういったタイムスケジュールで検証して地域通貨等につなげていくという考えがあるのか。

白石商工労働課長 集計等については全て終わってから、3月くらいを考えている。

大井淳一郎委員 地域通貨を考えるならそのスケジュールだと新年度に間に合わない。地域通貨についての検討状況を教えて欲しい。

白石商工労働課長 地域通貨の対象の拡大については、補助金等を出しているものを地域通貨に換えられないかということで担当課に意見を伺っている。取扱対象店舗については、両商工会議所をお願いしている。

長谷川知司委員 商品券取扱店一覧の事業所PR欄を見ると自分の店のPRがほとんどで、プレミアム付商品券を利用した際のメリットをPRしている店が少ない。どのようなアンケートをされたのか。

三浦商工労働課商工労働係主任 登録をいただく際に、事業所PR欄を設けた。商品券を持ってきた方に対してサービスをしていただくということも伝えていたが、自分の店のPRになってしまったということは非常に残念である。ただし、ここには載っていないが何かサービスをしている店舗もあるようなので、これから更にPRしていただけたらと思う。

尾山信義議長 約5,000人が5セットを購入したら完売することになるが、もっと多くの人に販売するという感覚はなかったのか。例えば広報の表紙にプレミアム商品券を購入するためのクーポン券のようなものを作れば各家庭に周知することができる。それでも来なかった場合に全部売りさばくというような、第2、第3の手は考えられなかったのか。

三浦商工労働課商工労働係主任 一次販売で広く出回るようにしていたが、これだけの枚数が残るとは思っていなかった。今回のプレミアム商品券は6か月という期間があるので、二次販売では直接販売で一人5セットとした。

大井淳一郎委員 プレミアム付商品券は取扱店に広く回らなければいけない。継続的な検証、協議会の開催は考えているのか。

三浦商工労働課商工労働係主任 今後も協議会を開催し、消費喚起や地域振興という面での検証も行っていきたい。

杉本保喜委員 取扱店の追加は可能なのか。

三浦商工労働課商工労働係主任 現在も店舗の登録は受け付けている。

杉本保喜委員 取扱店の協力がないと雰囲気は盛り上がらないので、取扱店をもっと強力に明示する必要がある。

白石商工労働課長 再度検討させていただく。

松尾数則委員長 サンパークで一次募集、二次募集をするというのは、プレミアム商品券の目的に即していないのではないかと思うがどうか。

白石商工労働課長 あくまで販売の会場ということで駐車場の台数、交通の利便性、会場のキャパを考えておのだサンパークに決めた。

杉本保喜委員 公共施設で販売するほうがフェアではないか。

姫井産業振興部長 他市の状況をみても駐車場が少ないと道路にあふれてしまうので、サンパーク、不二輸送機ホールには無理を言って御協力をいただいている。

中島好人委員 持ち帰って検討する内容を教えていただきたい。

姫井産業振興部長 身分証明によるチェックと登録店ののぼり、販売時間を共通にすることを再度検討する。

長谷川知司委員 市広報の表紙にする等、告知方法も再度検討していただきたい。

白石商工労働課長 そちらも検討する。

---

午前 11 時 31 分散会

---

平成 27 年 8 月 4 日

産業建設常任委員会委員長 松 尾 数 則